

川崎市子ども夢パーク 令和7年度事業進捗状況

1 令和7年度利用目標

利用目標：誰一人取り残さない居場所づくり

- (1) 子どもの育ち「遊び、学ぶ、ケア」の実現
- (2) 中高生の居場所の推進
- (3) 子どもの権利の更なる推進

2 令和7年度利用状況（令和7年4月～10月）

(1) 利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
令和7年度	日帰り	5,673	6,983	7,451	6,730	5,236	6,582	5,710	44,365
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度	日帰り	5,545	7,622	7,065	6,320	4,724	5,784	6,149	43,209
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0
対令和5年度比	日帰り	128	-639	386	410	512	798	-439	1,156
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0
令和5年度	日帰り	6,179	7,188	6,259	7,490	5,812	6,311	7,103	46,342
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0
対令和5年度比	日帰り	-506	-205	1,192	-760	-576	271	-1,393	-1,977
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0

(2) 利用団体数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
令和7年度	日帰り	66	111	109	101	147	99	100	733
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0
令和6年度	日帰り	61	104	112	113	90	102	132	714
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0
対令和6年度比	日帰り	5	7	-3	-12	57	-3	-32	19
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0
令和5年度	日帰り	71	110	127	133	126	117	126	810
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0
対令和5年度比	日帰り	-5	1	-18	-32	21	-18	-26	-77
	宿泊延べ	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 対令和6年度比における主な増減要因

- ・猛暑で外あそびや外活動が制限される中、暑さ対策を周知することで、乳幼児団体・保

育園・幼稚園・放課後等デイサービスの遠足の利用は継続された。

3 令和7年度主催事業等の実施状況（4月～10月）

（1）主な主催事業

事業名	新規・継続	実施日	実施回数	事業内容	定員	参加者数
金曜あそぼう会	継続	第1・3 金（8月 休み）	9	外遊びに慣れていない乳幼児親子にもプレーパークを楽しんでもらうきっかけづくりに。また遊び慣れている子どもたちにもより楽しんでもらえるように、水・泥あそびや畑、工作など、夢パークにあるもので遊ぶ会。シャボン玉あそびやゼラチンなどを使った感触遊びなどで盛りあがった。	なし	185
中川さん、川野さんのおはなし×2パーク	継続	第2火	7	乳幼児の部屋「ゆるり」を利用し、ボランティアによる乳幼児向けの読み聞かせや手遊びを実施。	なし	36
ブックカフェさくらのおはなし×2パーク	継続	第3木 （8月休 み）	6		なし	25
親子でもっとあそぼう会	継続	第3水 （8月休 み）	6	乳幼児親子対象の外遊び。プレーパークで水・泥あそびやたき火をしたり、ペンキ塗りや工作などをしたり、夢パークにある素材を使って乳幼児親子の外遊びの幅を広げるきっかけになるよう、支援委員会の方々と開催している。	なし	134
ゆるりであそぼうはなそう会	継続	第4水	7	令和元年9月から始まった乳幼児親子向けの事業。ボランティアによる読み聞かせや手遊びの他、育児相談等も受けており、親子が安心して来られる場所づくりを目指している。	なし	35
せせらぎ清掃	継続	第2・4 木	12	ウォータースライダーから滑り降りた先の池の清掃作業。子どもたちの手伝いたい！の声から、子どもや来所された大人の方にも声を掛け、お手伝いしてもらいながら、コミュニケーションを取っている。	なし	99
メンテナンスの日	継続	第4月 他	12	夢パークに寄付してもらった自転車・三輪車や本などを、大人も子どもも一緒に修理したりして物を大切にしていることを伝えている。また架け替えた広場の橋などのペンキを塗りなどにも多くの参加者がいた。	なし	52
スタジオ講習	継続	第2・4 土+不 定期	16	本格的スタジオA・Bの2室の機材や予約・利用の仕方についての講習。受講者にはカードが発行され、スタジオが利用できるようになる。	8/回	81
サタデーナイトスタジオ	継続	第2・4 土	7	高校生のスタジオ登録を中心に、「サタデーナイトスタジオ」への参加者も増えて、学校を越えて、KujiRockについての話し合いも活発になってきている。	なし	76
KujiRock	継続	6/15・ 8/9	2	スタジオ利用者（出演者）が中心になり手づくりの本格ライブを行ない、小さな子どもから大人まで音楽や会場の熱気を楽しんだ。	なし	160
ゆるロック	継続	5/10	1	創作スペースなどでアコースティックな楽器を使い、乳幼児親子も気軽にふ	なし	35

				らっと立ち寄ったり立ち去ったりしながら、みんなで音楽を楽しむ場となった。		
おさがりバザール	継続	奇数月の1週間	3(夢パまつり期間も含む)	着られなくなった(不要になった)子どもの洋服や靴などを無料で譲り合う「もったいない」「よろしかったらどうぞ」の『おさがり文化』を発信した。	なし	1623
GW あそぼうディこいのぼりトンネル	継続	5/3	1	ヒラタイラスライダー	なし	30
GW あそぼうディ段ボールであそぼう	継続	5/4	1	段ボールで家、スマホ、ペットなど、思い思いに作品をつくって楽しんでいった。	なし	28
GW あそぼうディあそぼうパン	継続	5/5	1	久しぶりのあそぼうパン 細い竹に各自パン生地を巻き付け炭火でじっくり焼き上げるといい匂いが漂って…ジャムの寄付もあり、たのしそうなおいしそうな笑顔にたくさん出会える日となった。	200	150
夢パークまつり	継続	7/21	1	三大イベントの一つで、毎年7月に周年行事として開催している。泥と水を思い切り楽しんでもらうために、スタッフがその日限り、この夏限りの大型遊具をつくり、いつもとは違う大胆な泥・水遊びにチャレンジしてもらった。	なし	1150
横丁たのしクラブ(よこたの)	新規	7月以降月1~3回	13	今年度も「こどもゆめ横丁」をもっと盛り上げるために出店者以外も含め活動。(横丁実行委員会・旧YTK)	なし	101
つくりつづける会	継続	第3土(8月休み)	6	夢パークを利用している団体・グループ・ボランティア・個人と支援委員会・スタッフの利用者懇談会。夢パークの利用についての話し合いや情報交換などを行なった。	なし	109
合同見学会	継続	不定期月1回	5	年間を通じ、毎月1回夢パークとえんの説明会を、所長が行っている。	30/回	81
ふるさとを歌おう会	継続	平日11日	3	東日本大震災の発生した3月11日14:46を忘れないように、平日でその時間にスタッフが活動できる日に、来所者と一緒に黙とうし『ふるさと』を歌う	なし	91
中高生の会	新規	不定期	2	18時以降の小学生が帰った後、中高生の来所者と様々な話をしたり、昔遊びをしたり、時には鍋を囲んでスタッフとゆっくり過ごしながらか、その世代の意見を聞く機会を作っている。	なし	27
ぶったぎりまつり	新規	不定期(8月中約1週間)	4	廃材などを活用し、普段しないような解体や電動工具を扱う体験の機会とした。	なし	46

(2) 主な主催事業において工夫した点・評価・課題等

- ・子どもが声を出しやすい環境を目指し、個人または会の方針、曜日、時間帯などを工夫した。
- ・利用者(子ども、大人)の声を基に話し合ったことを誰でも見られるような掲示等、工夫した。

- ・初めての来所の方も多く見られ、遊び慣れていない子どもが遊びたくなるような環境づくり。
- ・インスタ（フォロワー8700人）などを活用し、イベントの周知や比較的早く利用者へ情報を届ける工夫をした。

（3）その他事業報告

- ・子育て団体と連携し活動拠点となったり、ミニイベントを開催したり、地域での子どもの育ちを支援した。
- ・保護者を対象とした講座や出張プレーパーク、スタッフ派遣なども行った。

4 施設設備・管理に関する対応

件名	場所	内容	実施月
排水バイパス工事	ログハウスから全天候方面への排水路	ログハウスの排水路が木の根の成長に影響を受け流れが滞ることが頻発していたので、バイパスを作った。	9月
消防ホース	5カ所	耐用年数を超えたため入れ替え準備中	調整中
屋上防水	屋上	破損個所の修理	市へ申請中
全天候スポーツ広場の照明の修繕	全天候スポーツ広場の照明	照明が半分しかつかない状態なので、夕方以降利用する中高生から「暗い」という声があがっている。照明交換を申請している。	市へ申請中

5 課題への取組及び今後（12月以降）の事業展開

- ・ホリデーイベント、新春イベント、ライブなど子どもたちの声をききながら実施していく。
- ・今まで以上に運営に活かすために、子どもの声を聴く方法が課題になっている。

川崎市八ヶ岳少年自然の家 令和7年度事業進捗状況

1 令和7年度利用目標

自然に親しみ、富士見町の豊かな自然環境の中で、団体や個人の宿泊生活を通して健全な青少年の育成を図ります。

また、八ヶ岳ならではの特色ある活動プログラムを取り入れ、学校や家庭では得がたい体験の場を提供します。

安全で安心して活動できる環境づくりと、適切な指導の充実に努めます。

※ 施設利用者目標 96,000人

(1) ゆとりある活動プログラムの実施

自然体験や野外活動に加え、食事・入浴・消灯・清掃等の生活行動も学びの一環と捉え、学校や各団体と連携し、充実した活動が行えるよう努める。

(2) サステイナブルプログラムの本格的な運用

自然環境を大切にすること意識や持続可能な生活習慣の定着を目的とし、「小さな行動が未来を支える」という考え方を、体験学習を通して身に付けられるよう取り組む。

(3) 団体受け入れの強化

団体への案内を強化するとともに、効率的な部屋割りを行い、団体利用者の増加を図る。

(4) 一般利用促進

近隣施設へのチラシ配布、インターネットによる情報発信、イベントへの参加等により、広報と利用案内を強化する。

(5) 老朽化に伴う施設整備を積極的に実施

老朽化対策として、施設の長寿命化および寒冷地特有の環境を考慮した効率的な修繕を計画的に実施する。

(6) 安全な体験活動ができるよう安全委員会を設け対策の検討

安全委員会を設置し、食の安全確保、施設内危険箇所の点検・改善、各プログラムにおける危険要因の抽出と対策検討を行い、安全な体験活動の実施に努める。

2 令和7年度利用状況（令和7年4月～10月）

（1）利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
令和7年度	日帰り	75	80	73	72	112	1	68	481
	宿泊延べ	675	5,915	11,183	9,335	7,120	11,349	4,591	50,168
令和6年度	日帰り	37	87	66	60	41	59	32	382
	宿泊延べ	1,530	2,418	13,954	8,263	7,690	9,349	9,689	52,893
対令和6年度比	日帰り	38	-7	7	12	71	-58	36	99
	宿泊延べ	-855	3,497	-2,771	1,072	-570	2,000	-5,098	-2,725
令和5年度	日帰り	26	149	28	34	39	0	0	276
	宿泊延べ	2,722	6,359	10,745	8,513	9,239	10,773	7,645	55,996
対令和5年度比	日帰り	49	-69	45	38	73	1	68	205
	宿泊延べ	-2,047	-444	438	822	-2,119	576	-3,054	-5,828

（2）利用団体数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
令和7年度	日帰り	11	13	9	12	10	1	2	58
	宿泊延べ	71	128	102	119	187	140	121	868
令和6年度	日帰り	7	13	13	7	11	6	4	61
	宿泊延べ	91	111	119	87	137	134	136	815
対令和6年度比	日帰り	4	0	-4	5	-1	-5	-2	-3
	宿泊延べ	-20	17	-17	32	50	6	-15	53
令和5年度	日帰り	8	15	5	7	9	0	0	44
	宿泊延べ	92	151	125	104	142	143	152	909
対令和5年度比	日帰り	3	-2	4	5	1	1	2	14
	宿泊延べ	-21	-23	-23	15	45	-3	-31	-41

（3）対令和6年度比における主な増減要因

- ・春の中学校自然教室が他施設での実施となり、本年度は当施設を利用した学校はなかった。また、昨年度はバス入札の不調により一部学校が他施設を利用したが、本年度はそれ以上に、小学校19校が他施設で自然教室を実施したため、利用者数は大きく減少した。例年は11月まで小学校の自然教室を実施しているが、本年度は10月下旬で終了した。
- ・一般利用者および青少年団体については、曜日の並びや利用可能日が多かったことから、利用者数が増加した。

3 令和7年度主催事業等の実施状況（4月～10月）

（1）主な主催事業

事業名	新規, 継続	実施日	実施回数	事業内容	定員	参加者数
ふじみ星空観察会	継続	4月-10月	6回	外部専門講師による宿泊者と近隣入眠などを対象に季節に合わせた星空観察を実施	各月 60名	207名
ふれあい星観察会	継続	4月-10月	69回	自然教室以外の施設利用者対象とした星空観察	なし	3,461名
ふれあいサマーキャンプ	継続	8月4日～ 8月5日	1回	川崎市内の子ども達が夏休みを活用し富士見町の散策と地元の小学生と交流を行う。	60名	55名
八ヶ岳自然観察会	継続	4月-10月	6回	野草・昆虫・動物などの観察や学習	なし	16名
母の日ワークショップ	新規	5月10日	1回	親子で作る母の日プレゼント 多肉植物の寄せ植え	20名	20名

（2）主な主催事業において工夫した点・評価・課題等

- ・主催事業の実施にあたっては、参加者が集まりやすい週末や夏休み期間は、同時期に自然教室や社会教育団体の利用が重なるため、日程の調整が難しい。
- ・星空観察事業については、ボランティアスタッフの増員を図り、今後も継続的に実施できる体制を整えた。

（3）その他事業報告

- ・富士見町および富士見パノラマリゾートと連携し、「川崎市民キャンペーン」を活用して、利用者や団体が無料でゴンドラに乗車し入笠山の自然散策を体験できるよう調整を行った。
- ・4月には「川崎緑化フェア」に出展し、自然の家のPR活動を実施した。
- ・自然教室の一部を他施設での実施していることにより、「八ヶ岳少年自然の家は令和7年度から閉鎖している」との誤った情報が一部に広まり、他施設の利用を検討する団体が見られたほか、閉鎖の有無を確認する問い合わせもあった。
風評による影響が懸念されるため、正確な情報発信の強化に努める。

4 施設設備・管理に関する対応

件名	場所	内容	実施月
引戸戸車修理	センターハウス	戸車交換	4月
浴槽内タイル補修工事	第2浴室	タイル張替え工事	4月
NW機用電源タップ取付け	センターハウス	NW機用電源タップ取付け	4月
凍結修理	野外炊飯場、パーベキュー場	減圧弁、ゲートバルブ交換	4月
ボイラー修理	鳥の棟機械室	ワーキングホール暖房補給水用電磁弁交換	5月
U字溝布設工事	花の棟保健室前	排水不良のため布設替え	5月
スロープ舗装工事	星の棟玄関前	舗装劣化、車椅子等対応のため整備	5月
玄関タイル補修工事	センターハウス玄関	劣化による割れや浮きのため張替え	5月
屋根上避雷針固定工事	花、山、星の棟	劣化による接合部剥離のため固定工事	5月
電話・NW機器障害対応	センターハウス	通信不具合のため修理	5月
食器保管庫殺菌灯設置工事	野外炊飯場	殺菌灯設置	6月
アルミ扉補修工事	星の棟 北岳食堂	非常口扉腐食による補修	6月
フロアヒンジ取替工事	センターハウス通用口	破損による交換	6月
渡り廊下壁補修工事	山の棟	壁ひび割れ補修	6月
屋内消火栓設備ホース取替	星、村、花、山の棟、センターハウス	定期交換	7月
残留塩素濃度機取付け工事	第1第3浴室機械室	残留塩素濃度機設置	7月
自動火災報知設備交換	星の棟	熱感知器取替	7月
雨漏り修繕工事	第2プレイホール倉庫	雨漏りのため屋根、天井張替え	7月
火災報知器受信機交換工事	花の棟	※落雷による破損のため交換	7月
小荷物昇降機ワイヤー交換	センターハウス 厨房	素線切れのため主ワイヤーロープ交換	7月
望遠鏡修理(D)	アストロハウス	※落雷による基盤故障	7月
塩素ポンプ修理	第3浴室	塩素ポンプヘッド故障交換	8月
中継ポンプ修理	野外ステージ横	中継ポンプ部品交換（落雷による破損）	8月
火災報知器受信機交換工事	花の棟	落雷による破損のため交換	8月
スチームコンベクション修理	センターハウス厨房	扉センサー不良 部品交換	9月
横引き網戸修理	センターハウス厨房	破損による修理	9月
網戸修理	鳥の棟	破損による修理	9月
ボイラー減圧弁取替工事	野外炊飯場	故障による取替	9月
貯湯槽修理	第2機浴室械室	フランジ水漏れによる修理	9月
トイレ内電気工事	第2駐車場、野外炊飯場	様便器設置のための電気工事	9月
FF暖房機灯油配管工事	星の棟	配管不具合による交換	10月
電話基盤、Wi-Fi設備等修理	センターハウス、宿泊棟他	※落雷による各所破損箇所交換、修理	7月～10月

- ・7月1日の落雷により、花の棟 消防設備、アストロハウス望遠鏡、施設内の電話基盤やWi-Fi等が多数被害を受けたが全て復旧済み。※復旧費400万円

5 課題への取組及び今後（12月以降）の事業展開

※課題への取り組み

- ・自然教室向けにサステイナブルプログラムを本格的に運用開始。
 - ※ 実施校数 28校（約2,800人）
- ・物価上昇による料金変更を検討中。
- ・和式トイレの使用が困難な児童が増加していることから、野外炊飯場および第2駐車場のトイレを洋式化する改修工事を実施中。
- ・施設内各所の照明をLED化し、省エネルギー化を随時進めている。
- ・施設の老朽化に伴い、必要な修繕を順次実施。

※12月以降の事業展開

- ・受水槽工事による水圧低下のため、11月13日～12月25日は受け入れ人数制限
 - ※断水による休所 12月15日～12月18日、1月6日～1月9日
- ・年末年始 12月28日～1月4日は要望が多い事から開所し受け入れ。
- ・1月13日～3月3日 冬期自然教室における中学校自然教室37校受け入れ。
- ・3月末を中心に青少年団体受け入れ。
- ・従業員研修随時

川崎市黒川青少年野外活動センター 令和7年度事業進捗状況

1 令和7年度利用目標

利用目標：利用者数 29,100 名

- (1) 主催事業の広報を積極的に行い、誘致活動を行います。
 (2) 利用が少ない平日に、利用する団体を増やすことで利用者数を増やします。

2 令和7年度利用状況（令和7年4月～10月）

(1) 利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
令和7年度	日帰り	665	1,491	1,297	725	1,171	569	780	6,698
	宿泊延べ	385	401	332	787	849	218	227	3,199
令和6年度	日帰り	1,033	1,667	1,037	983	525	556	1,010	6,811
	宿泊延べ	549	492	629	576	691	761	172	3,870
対令和6年度比	日帰り	-368	-176	260	-258	646	13	-230	-113
	宿泊延べ	-164	-91	-297	211	158	-543	55	-671
令和5年度	日帰り	1,020	1,462	1,179	842	752	794	853	6,902
	宿泊延べ	363	209	266	770	921	326	422	3,277
対令和5年度比	日帰り	-355	29	118	-117	419	-225	-73	-204
	宿泊延べ	22	192	66	17	-72	-108	-195	-78

(2) 利用団体数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
令和7年度	日帰り	36	44	46	41	38	31	39	275
	宿泊延べ	9	6	8	12	11	5	4	55
令和6年度	日帰り	46	53	44	42	22	31	54	292
	宿泊延べ	11	7	9	11	12	11	5	66
対令和6年度比	日帰り	-10	-9	2	-1	16	0	-15	-17
	宿泊延べ	-2	-1	-1	1	-1	-6	-1	-11
令和5年度	日帰り	44	59	58	46	34	41	48	330
	宿泊延べ	8	6	5	11	18	7	7	62
対令和5年度比	日帰り	-8	-15	-12	-5	4	-10	-9	-55
	宿泊延べ	1	0	3	1	-7	-2	-3	-7

(3) 対令和6年度比における主な増減要因

- ・週末・祝日に大規模な人数集客を見込んで予約をした団体が、参加者を集めきれず、利用団体数と利用者数が大きく落ち込む月がある。

- ・定期的に平日利用する団体に所属する人数が少なくなっている。また、定期的な利用がなくなった団体もある。
- ・大規模な人数集客を見込んだ団体を除いた土日祝の利用団体数・利用者数は大きな昨対減はしていない。施設を最大活用できている。

3 令和7年度主催事業等の実施状況（4月～10月）

（1）主な主催事業

事業名	新規, 継続	実施日	実施回数	事業内容	定員	参加者数
焚き火カフェ	継続	4/17、 5/14	2回	平日夕方に焚き火を企画・運営する	13組	30名 30名
デイキャンプ春	継続	4/27	1回	小学生を対象にデイキャンプを行う。	20名	26名
GW ドラム缶ピザ	継続	5/4, 5, 6	3回	親子でドラム缶ピザづくりを楽しむ	300人	120名 131名 80名
森のようちえんのあそび	継続	5/21、6/4、 7/2、9/17、 10/1、29	6回	森のようちえんの理念のもと、里山でのあそびを体験する。	16名	14名、6名、 9名、 11名、14名
冒険クラブ	継続	5/25、 7/13、 9/21 10/18～19	4回	年間を通じて同じメンバーと関わり、チームワークや野外活動のためのスキルを身に着ける。	20名	21名 20名 21名
いちにちのあそび	継続	5/31、 6/28、 9/27	3回	のあそびの1日バージョンで、たっぷりとのあそびを楽しむ。	20名	10名 22名 24名
珈琲焙煎講座	継続	6/12	1回	大人のための珈琲焙煎講座で、焙煎仕立ての珈琲を楽しむ。	16名	15名
デイキャンプ夏	継続	7/19, 20	2回	夏ならではの水遊びを楽しむ	20名	13名、29名
夜の昆虫観察会	継続	7/26～27	1回	カブトムシやクワガタを観察する。	30名	38名
みんなで流しそうめん	新規	8/6, 7	2回	流しそうめんをみんなで楽しむ	40名	41名、46名
花火フェスタデイ	新規	8/10、 11、12	2回 (1回は 雨で中 止)	グラウンドを開放し、みんなで花火を遊べる環境を提供した。	10名	中止、10名、16名
夏の染め物体験	継続	8/16, 17	2回	藍染めを体験する。	20名	21名、23名
デイキャンプ秋	継続	10/5	1回	森のお手入れとクラフト。	20名	
スパイス講座	継続	10/8	1回	ジンジャーエールと担々麺作り	20名	
テント村 プログラムマルシェ	新規	10/11、 12、13	1回	ドラム缶ピッツァ&クラフトコーラ、シルクストールの染め物、珈琲焙煎	15名	

(2) 主な主催事業において工夫した点・評価・課題等

- ・利用目標にある通り、広報に力を入れ、定員以上の募集を見込んで広報を行った。
- ・定員以上の応募があった場合、定員枠の拡張を行い、できる限り利用者を受け入れた。

(3) その他事業報告

- ・夜の昆虫観察会
- ・花火フェスタデイ（新規）
- ・流しそうめん（復活）
- ・スパイス講座（大人向け）

4 施設設備・管理に関する対応

件名	場所	内容	実施月
電気設備キュービクルの交換	屋上	キュービクルを交換する。	2027年 1月予定
LED化及び配線工事	工作棟、厨房棟	外壁の塗りなおし、配線の確認、電灯のLED化	2027年 1月予定

5 課題への取組及び今後（12月以降）の事業展開

- ・しめ縄飾り作り、味噌仕込みなど、季節に応じたプログラムを展開していく。
- ・視覚障害のある方へのピザ指導や、地域の小学校へ出張など、満足度の高い丁寧なプログラムを行っているため、人数という形では成果が出てこないという課題がある。